

熱帯園芸学特論 (2単位)

担当者氏名 小塩海平・弦間洋

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

園芸作物に関わる栽培、貯蔵、加工、流通、消費などの知識や技術を学び人口・食料問題あるいは環境・健康問題における役割について考察する。講義は主として英語で行い、毎回ディスカッションを行う。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>野菜類</u>	<u>果樹類</u>	<u>花卉類</u>	<u>育種・繁殖</u>
成長と発育	栽培管理	環境	施設園芸

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	熱帯園芸学とは	本講義のガイダンスを行う	毎回資料を配付する。
2	園芸作物の分類	野菜、果樹、花卉について、特徴を概説する	
3	園芸作物の特長	穀類、イモ類との比較を行う	
4	形態	根・茎・葉・花・果実の形態を概説する	
5	品種と育種	品種特性と育種について現状と課題を述べる	
6	繁殖	種子繁殖、栄養繁殖、組織培養などについて述べる	
7	光と成長	光合成、日長反応、屈光性について概説する	
8	温度と生育	温度が園芸作物の生育、発育に及ぼす影響を述べる	
9	土壌と施肥	土壌、施肥について概説する	
10.	園芸作物の栄養素	主として、要素欠乏と診断法を述べる	
11.	園芸作物の機能性成分	ビタミン、繊維、抗酸化活性などについて概説する	
12.	植物ホルモン (1)	ホルモンについて概説する	
13.	植物ホルモン (2)	エチレン生理について詳述する	
14.	鮮度保持	CA 貯蔵、コールドチェーンなどについて述べる	
15.	園芸と文化	シンボルとしての園芸について講義する	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

Principle of Horticulture/C. R. Adams et al./Routledge (2012)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

Horticulture in Japan/園芸学会/2006

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートによって評価

◆オフィスアワー

随時連絡のこと

◆その他受講上の注意事項

積極的な発言、討論への参加を期待する。